

資料提供	
平成30年4月17日	
担当課 (担当者)	埋蔵文化財センター (下江・坂本)
電話	0857-27-6711

あおやよこぎ 青谷横木遺跡出土！ たげた 田下駄に再利用された かんじょういた 勸請板を展示します

青谷横木遺跡から出土した平安時代の勸請板（般若心經を書写したことの記録、あるいは般若心經の經文そのものを記して集落の入り口や門に掲げ、五穀豊穡や無病息災を祈願した板）が、この度、奈良文化財研究所での保存処理を終え戻ってきましたので、鳥取県立博物館『歴史の窓』コーナーにて展示公開します。

青谷横木遺跡では国宝高松塚古墳壁画に次ぐ全国2例目となる「女子群像」板絵や仏形など重要な発見が相次いでいますが、この勸請板も古代の地方社会における仏教のあり方を考えるうえで大変貴重な資料です。

なお、展示に併せて専門職員によるギャラリートーク（展示解説）を下記の日程で行います。

については、事前の告知及び取材等記事として取り上げてくださるようお願いいたします。

記

- 1 展示期間 平成30年4月21日（土）から平成30年5月6日（日）まで
- 2 会場 鳥取県立博物館 1階 歴史・民俗展示室 「歴史の窓」コーナー  
※「歴史の窓」コーナーでは、3月27日より、「女子群像」板絵などの青谷横木遺跡出土品を展示しています。これらに加えて「勸請板」を新たに展示します。
- 3 ギャラリートーク  
平成30年4月22日（日）第1回：午後1時から午後1時30分まで  
第2回：午後3時から午後3時30分まで  
4月29日（日）第1回：午前11時から午前11時30分まで  
第2回：午後1時30分から午後2時まで  
5月 3日（木）第1回：午後3時5分から午後3時35分まで  
5月 6日（日）第1回：午前11時から午前11時30分まで  
第2回：午後1時30分から午後2時まで

4 「勸請板」出土の意義

- (1) 出土した勸請板は承和12年（845年）3月17日に般若多心經<sup>※</sup>を34巻書写したことを記録したもの。石川県堅田B遺跡（1251年・1263年）、滋賀県松原内湖遺跡の出土品（1331年）や『一遍上人絵伝』（1299年）、『三国伝記』（1407年）など、主に鎌倉時代以降の絵巻物や文献にみられ、平安時代以前に遡る資料は極めて珍しく、よって資料的価値が高い。
- (2) この勸請板で願をかけた「糸井広女」・「糸井広成」・「某部鴨取」の3人の名が記されており、これまで文献資料では知られていなかった有力氏族が青谷地域（勝部郷・日置郷）に存在していたことが初めて分かった。
- (3) 山岳文様のある銅板や仏形とともに遺跡内における仏教活動の一端を示す資料として重要である。
- (4) 興味深いことに、10世紀には田下駄に再利用された。通常、勸請板を田下駄にすることは考えられず、長期間にわたり日光と外気に曝され、墨書が消えていたために、田下駄の持ち主は勸請板とは気付かなかつたと考えられる。

※般若多心經は般若波羅密多心經の略称で、一般に般若心經と呼ぶ。



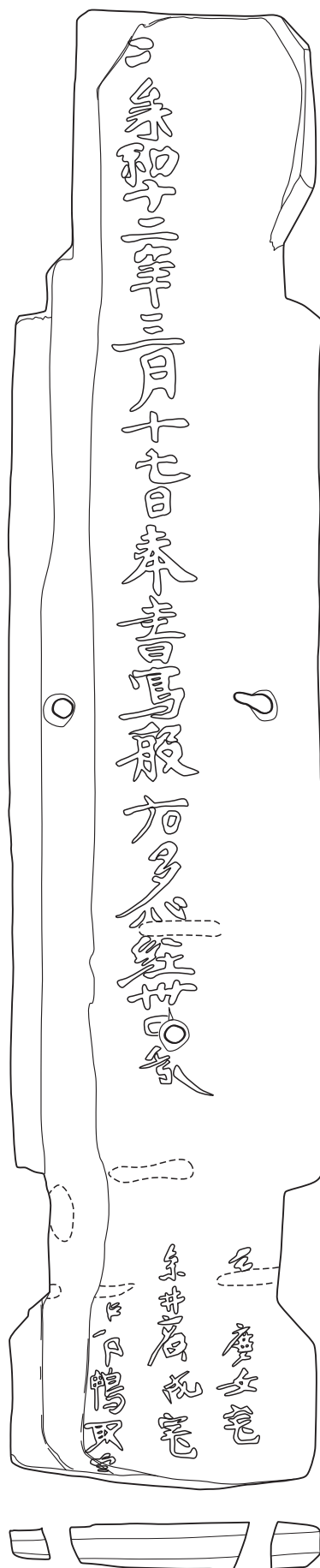
「一遍上人絵伝」にみる勸請板

5 出土した勸請板の写真と実測図



□ 承和十二年三月十七日奉書写般若多心經卅四卷

〔糸カ〕  
 □□ 廣女宅  
 糸井廣成宅  
 □□□□□□  
 〔部鴨取宅カ〕



四九号木簡

457×96×14 061

承和十二年三月十七日奉書寫般若多心經卅四卷

廣女宅  
 糸井廣成宅  
 部鴨取宅

0 S=1:2 5cm

写真：奈良文化財研究所撮影